

間伐材の商品化支援

福永アドバイザーによる支援

何回かの訪問で、間伐材の有効活用について権利化したい旨の相談を受ける

特許権取得に向けたサポート

- ▶ 特許電子図書館による先行技術調査支援
- ▶ 発明のポイントは何か、発明の捉え方について指導
- ▶ 先行技術調査支援制度の活用
- ▶ 審査請求の減免制度の活用
- ▶ 早期審査制度の活用
- ▶ 拒絶理由通知に対する対応の支援
- ▶ 権利取得後の特許管理の指導

有限会社赤松製材所

台風による山崩れ防止は、間伐などの森林整備が必須

間伐をすることにより

- ▶ 森林環境の改善
- ▶ 自然災害の防止

間伐材を有効活用することにより

- ▶ 国内の森林・林業・木材産業の活性化
- ▶ CO₂の固定化による地球温暖化防止効果
- ▶ 景観との調和を図る

特許情報活用による成果

「丸太フェンス」
特許第3884753号
「木製グレーチング」
特願2003-436240号
(特許査定: 設定登録料納付済)
早期審査制度を活用し、早期に権利化することができた。
「木製ワンタッチソココ蓋」
特願2004-109492号

- ▶ 新規アイデアが生まれたら特許電子図書館で公開情報を積極的に活用
- ▶ 特許権の重要性・威力を認識

この支援によって開発・販売された商品

商品名 「丸太フェンス」および「木製グレーチング」

いずれも山より切り出した間伐材を利用したもので、自然に溶け込んだ素朴で優しい木製のフェンスおよび軽量で補修が容易なグレーチング(側溝蓋)であり、非常に暖かく、心休まるものです。

支援先企業の概要

- 会社名 有限会社赤松製材所 ■取締役社長 赤松 孝明
- 住所 香川県高松市塩江町安原上 ■設立 1955年 ■資本金 300万円
- ホームページ <http://e-seizai.dreamblog.jp/>

福永 恵介(香川県知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

同社社長は、森林整備が至らないから台風による山崩れや地球温暖化などの現象が発生していること、また国内の森林・林業・木材産業を活性化させたいとの考えから、間伐材の有効活用に尽力されてきた。この考え方に感銘を受け、ご支援することになった。特許出願後は、マスコミの取材を快く受け、テレビ・新聞や“知恵の輪ニッポン”2006年第7回放映「間伐材の丸ごと活用法」で紹介されると共に、精力的に行政に働きかけ行政を動かすなど、意欲的な活動をされている。また、同権利は特許流通アドバイザーの尽力により、数社に実施権許諾している。特許情報の調査・活用および手続きを習得していただいたと共に特許の重要性を認識していただきました。



平成20年1月現在

